

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社アオイプロモーション
 コード番号 9607 URL <http://www.aoi-pro.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 高瀬 哲
 (氏名) 八重樫 悟

TEL 03-3779-8000

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	11,164	—	291	—	230	—	△181	—
20年3月期第3四半期	11,711	28.0	675	—	633	—	253	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△14.89	—
20年3月期第3四半期	20.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	18,170	9,148	9,148	9,148	49.8	744.45
20年3月期	17,080	9,707	9,707	9,707	56.3	790.18

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 9,056百万円 20年3月期 9,613百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	20.00	25.00
21年3月期	—	7.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	18.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,050	4.6	780	△7.0	710	△9.1	250	△9.9	20.55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	13,334,640株	20年3月期	13,334,640株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,169,294株	20年3月期	1,168,478株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	12,165,364株	20年3月期第3四半期	12,167,539株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、実感が乏しかったとは言え長期間続いた景気拡大から9月を境目に一気に景気後退局面に入ってしまった。原油・穀物等原材料価格の高騰等により先行きに不透明感を増しつつあった海外景気は、サブプライムローンに端を発した金融危機の実体経済への急速かつ大きな打撃を受け、米国・欧州はマイナス成長へ、また中国に加え新興国は減速の度合いを強めました。外需依存型の成長をしてきたわが国経済は、予想を超える大きな影響を受け、企業・家計共に非常に厳しい状況に陥りました。

当広告業界におきましても、わが国経済の動きを反映し広告需要が俄かに低調になり、かつてない厳しい経営環境となりました。

このような環境の中にありまして、当社グループでは、グループ各社の組織を挙げて業績の維持・向上に向けて鋭意努力して参りました。しかしながら広告需要減少の影響が思いのほか大きく、売上高は、計画はもちろん前年実績までも下回りました。利益的にも制作原価率の上昇を抑える等経費の抑制に努めたものの、減収の影響が大きく、加えて株式市場の下落等に伴う委託機関の運用成績の大幅低下による退職給付費用の負担増と投資有価証券評価損計上、役員退職慰労金の支払いや繰延税金資産の一部取崩しに伴う税金費用の増加等もあり不本意なものとなりました。

また、当第3四半期連結会計期間から、㈱シースリーフィルムがグループ入りしました。同社株式買収に際し、のれん代2億1千1百万円が発生しましたが、同社の今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力に伴い、5年での償却を予定しております。グループ入り後の同社の業績は、グループ入りが信用度のアップにもなり、上記のような厳しい経営環境のため低位ではありますがほぼ計画通りに推移しております。同社に対しては、これまで以上に制作体制の強化や制作原価管理の徹底等を通じて、グループの中核会社に成長する様に経営指導をして参ります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高111億6千4百万円（前年同期比95.3%）、営業利益2億9千1百万円（前年同期比43.2%）、経常利益2億3千万円（前年同期比36.4%）、四半期純損失1億8千1百万円（前年同期は純利益2億5千3百万円）と前年同期比大きく後退しました。

なお、主要部門別の営業状況は、映像制作事業部門が売上高102億6千5百万円（前年同期比94.6%）、その他の事業部門が売上高8億9千8百万円（前年同期比104.0%）でした。

前年同期との比較金額及び比率につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の資産合計残高は181億7千万円（前連結会計年度末比10億8千9百万円増）となりました。これは、現金及び預金等の増加もありましたが、主に仕掛品等の増加によるものです。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の負債合計残高は90億2千1百万円（前連結会計年度末比16億4千8百万円増）となりました。これは、役員退職慰労引当金等の減少もありましたが、主に支払手形及び買掛金、借入金及び退職給付引当金等の増加によるものです。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の純資産合計残高は91億4千8百万円（前連結会計年度末比5億5千8百万円減）となりました。これは、主に新規連結子会社の債務超過、剰余金の配当及び純損失計上による利益剰余金の減少によるものです。

前連結会計年度との比較金額につきましては、参考として記載しております

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ、7億1千万円増加しました。これは、営業活動、投資活動及び財務活動による収入が共に支出を上回ったことによるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5千7百万円（前年同期比7億5百万円減）となりました。これは、主に利益の減少、売上債権の減少、たな卸資産の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1千6百万円（前年同期は使用した資金1億5千万円）となりました。これは、主に有形固定資産の取得の増加、保険積立金の解約によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、6億4千万円（前年同期は使用した資金5億7千9百万円）となりました。これは、主に借入金の増加によるものです。

前年同期との比較金額につきましては、参考として記載しております

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、世界経済の悪化の影響をまともに受け、これまで以上に厳しい状況が暫く続くものと思われます。当然のことながら、企業・家計共により慎重な行動となると思われます。

勢い広告需要は、ますます冷え込むことが予想されます。一方、映像制作業界を取り巻く環境も広告媒体の多様化で変わりつつあり、当社のようなワンストップサービスに対応できる体制の整った制作会社への発注傾向が強くなっております。

引き続き積極的な営業活動を展開すると共に不採算部門の見直しや制作原価率の上昇を抑える等経費の節減に努める所存であります。通期の連結業績の見通しにつきましては、現状、平成20年11月7日に公表のとおり、売上高180億5千万円(前連結会計年度比104.6%)、営業利益7億8千万円(前連結会計年度比93.0%)、経常利益7億1千万円(前連結会計年度比90.9%)、当期純利益2億5千万円(前連結会計年度比90.1%)を見込んでおります。

なお、配当につきましては、平成20年5月16日公表のとおり、前期と同額の1株当たり年間25円を予定しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価計算の方法

年度決算では実際原価計算によっておりますが、四半期決算では社内経費については予定価格を適用しており、これにより生じた原価差異を仕掛品と売上原価へ配賦しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当社及び連結子会社は、従来、仕掛品は個別法による原価法、貯蔵品は先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、仕掛品は個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、貯蔵品は先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期利益が86,717千円少なく計上されております。

リース取引に関する会計基準の適用

当社及び連結子会社は、従来、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第2四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期利益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,461	938,837
受取手形及び売掛金	6,480,830	7,392,635
仕掛品	2,311,219	678,414
貯蔵品	27,774	26,102
その他	288,943	259,096
貸倒引当金	△7,490	△11,978
流動資産合計	10,777,738	9,283,108
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,566,073	3,566,073
その他(純額)	1,491,204	1,547,273
有形固定資産合計	5,057,277	5,113,347
無形固定資産		
のれん	201,150	—
その他	153,038	158,228
無形固定資産合計	354,189	158,228
投資その他の資産		
投資有価証券	710,868	912,423
その他	1,295,606	1,629,420
貸倒引当金	△25,247	△16,033
投資その他の資産合計	1,981,227	2,525,810
固定資産合計	7,392,695	7,797,386
資産合計	18,170,434	17,080,494
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,094,395	1,793,353
短期借入金	3,307,728	2,662,316
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	88,840	263,999
賞与引当金	50,758	108,914
役員賞与引当金	3,750	23,000
その他	806,592	529,219
流動負債合計	6,372,064	5,400,802
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	2,325,640	1,641,671
退職給付引当金	111,699	17,178
役員退職慰労引当金	156,718	257,849
負ののれん	21,139	25,849
その他	14,725	—
固定負債合計	2,649,923	1,972,547
負債合計	9,021,988	7,373,350

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,323,900	3,323,900
資本剰余金	3,944,754	3,945,080
利益剰余金	2,596,502	3,106,158
自己株式	△790,163	△789,841
株主資本合計	9,074,994	9,585,297
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,521	28,137
評価・換算差額等合計	△18,521	28,137
少数株主持分	91,973	93,708
純資産合計	9,148,445	9,707,144
負債純資産合計	18,170,434	17,080,494

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	11,164,502
売上原価	9,724,035
売上総利益	1,440,467
販売費及び一般管理費	
役員報酬	283,903
従業員給料	264,016
賞与引当金繰入額	4,888
役員賞与引当金繰入額	3,750
退職給付費用	31,115
役員退職慰労引当金繰入額	17,054
貸倒引当金繰入額	1,266
のれん償却額	10,586
その他	532,454
販売費及び一般管理費合計	1,149,036
営業利益	291,430
営業外収益	
受取利息	1,327
受取配当金	4,612
為替差益	1,812
受取保険金	1,863
負ののれん償却額	4,710
その他	10,127
営業外収益合計	24,452
営業外費用	
支払利息	69,831
持分法による投資損失	4,451
その他	10,957
営業外費用合計	85,239
経常利益	230,643

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

特別利益	
固定資産売却益	1,527
投資有価証券売却益	6,974
貸倒引当金戻入額	16,297
保険解約返戻金	12,049
特別利益合計	36,849
特別損失	
固定資産除却損	1,015
投資有価証券売却損	14,558
投資有価証券評価損	56,893
持分変動損失	534
会員権評価損	10,730
貸倒引当金繰入額	13,514
保険解約損	9,639
役員退職慰労金	129,615
特別損失合計	236,502
税金等調整前四半期純利益	30,990
法人税、住民税及び事業税	123,458
法人税等調整額	96,283
法人税等合計	219,742
少数株主損失(△)	△7,569
四半期純損失(△)	△181,181

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	30,990
減価償却費	292,066
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,517
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	112,904
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△101,130
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58,156
受取利息及び受取配当金	△5,939
支払利息	69,831
為替差損益 (△は益)	4,189
売上債権の増減額 (△は増加)	1,209,540
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,367,063
その他の資産の増減額 (△は増加)	6,609
仕入債務の増減額 (△は減少)	△89,635
その他の負債の増減額 (△は減少)	211,527
その他	94,672
小計	408,891
利息及び配当金の受取額	5,906
利息の支払額	△66,849
法人税等の支払額	△290,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△191,613
有形固定資産の売却による収入	7,069
無形固定資産の取得による支出	△24,008
投資有価証券の売却による収入	53,954
保険積立金の解約による収入	298,085
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△54,743
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△72,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	269,578
長期借入れによる収入	1,380,000
長期借入金の返済による支出	△674,800
社債の償還による支出	△10,000
少数株主からの払込みによる収入	5,300
自己株式の取得による支出	△647
配当金の支払額	△328,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	640,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	710,265
現金及び現金同等物の期首残高	910,811
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,621,076

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

(1) 前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
売上高	11,711,828
売上原価	10,059,251
売上総利益	1,652,576
販売費及び一般管理費	977,360
営業利益	675,216
営業外収益	
受取利息	1,063
為替差益	5,602
その他	28,723
営業外収益合計	35,390
営業外費用	
支払利息	62,467
支払手数料	8,124
その他	6,550
営業外費用合計	77,141
経常利益	633,464
特別利益	18,318
特別損失	3,618
税金等調整前四半期純利益	648,163
税金費用	377,074
少数株主利益	17,914
四半期純利益	253,175

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	648,163
減価償却費	272,065
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,711
退職給付引当金の増減額(は減少)	30,973
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,849
賞与引当金の増減額(は減少)	40,103
役員賞与引当金の増減額(は減少)	15,250
受取利息及び受取配当金	5,506
支払利息	62,467
為替差損益	390
売上債権の増減額(は増加)	793,221
たな卸資産の増減額(は増加)	149,488
その他の流動資産の増減額(は増加)	9,547
仕入債務の増減額(は減少)	512,005
その他負債の増減額(は減少)	152,370
その他	146,779
小計	1,342,223
利息及び配当金の受取額	5,489
利息の支払額	60,561
法人税等の支払額	524,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	762,509
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	81,552
無形固定資産の取得による支出	1,229
投資有価証券の取得による支出	53,277
新規連結子会社の取得による収入	19,372
その他投資に関する収支(純額)	33,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	150,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(純額)	1,170,165
長期借入れによる収入	1,500,000
長期借入金の返済による支出	617,931
社債の償還による支出	10,000
自己株式の増減額(は増加)	1,458
配当金の支払額	279,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	579,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	390
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	32,497
現金及び現金同等物の期首残高	1,066,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,099,295

(セグメント情報)

該当事項はありません。

(2) 受注及び販売の状況
部門別売上高明細表

(単位：千円、%)

		前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		当四半期 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		CM作品	オリジナル	7,516,809	64.2	7,386,486	66.1
	改訂	295,303	2.5	369,086	3.3	390,903	2.3
映像作品		1,508,188	12.9	1,216,118	10.9	2,632,723	15.3
その他	プリント	757,561	6.4	684,261	6.1	993,996	5.8
	企画等	769,751	6.6	609,726	5.5	1,129,221	6.5
映像制作事業		10,847,614	92.6	10,265,679	91.9	16,104,811	93.4
その他の事業		864,213	7.4	898,822	8.1	1,145,626	6.6
合計		11,711,828	100.0	11,164,502	100.0	17,250,438	100.0

部門別受注状況明細表

(単位：千円)

		前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		当四半期 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
		CM作品	オリジナル	7,155,037	1,203,966	6,843,586	1,384,300
	改訂	273,403	12,400	313,086	17,500	430,103	73,500
映像作品		1,391,057	230,164	2,062,302	916,107	2,361,352	75,924
その他	プリント	757,561		684,261		993,996	
	企画等	1,247,841	580,455	628,283	26,256	1,034,555	7,700
映像制作事業		10,824,901	2,026,985	10,531,520	2,344,164	16,139,436	2,084,324
その他の事業		864,213		898,822		1,145,626	
合計		11,689,114	2,026,985	11,430,343	2,344,164	17,285,063	2,084,324

(3) 経営指標等の推移

平成21年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (20年4月～20年6月)	第2四半期 (20年4月～20年9月)	第3四半期 (20年4月～20年12月)	第4四半期 (20年4月～21年3月)
売上高	3,331,701	7,684,260	11,164,502	
売上総利益	344,979	969,228	1,440,467	
営業利益(損失)	31,157	253,909	291,430	
経常利益(損失)	46,395	224,796	230,643	
税金等調整前四半期 (当期)純利益 (損失)	194,333	56,321	30,990	
四半期(当期)純損 失	148,221	85,876	181,181	

平成20年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (19年4月～19年6月)	第2四半期 (19年4月～19年9月)	第3四半期 (19年4月～19年12月)	第4四半期 (19年4月～20年3月)
売上高	3,250,467	7,884,330	11,711,828	17,250,438
売上総利益	438,339	1,142,401	1,652,576	2,215,011
営業利益	82,734	480,129	675,216	839,032
経常利益	78,632	455,301	633,464	781,343
税金等調整前四半期 (当期)純利益	80,728	476,169	648,163	727,221
四半期(当期)純利 益	2,334	188,640	253,175	277,433

平成19年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (18年4月～18年6月)	第2四半期 (18年4月～18年9月)	第3四半期 (18年4月～18年12月)	第4四半期 (18年4月～19年3月)
売上高	2,726,703	6,466,264	9,150,842	14,832,892
売上総利益	94,969	797,599	834,705	1,702,845
営業利益(損失)	204,768	213,150	9,608	575,883
経常利益(損失)	199,969	209,994	18,739	575,974
税金等調整前四半期 (当期)純利益 (損失)	225,599	177,588	84,615	478,690
四半期(当期)純利 益(損失)	184,118	92,059	58,582	138,700